

次代を主体的に切り拓く人づくり



安藤尚志教育長

教育行政執行方針

変化の激しい社会を生き抜くためには、自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら課題を解決する人材の育成が求められています。

学校教育では、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ることが重要となっています。また、生涯学習では、町民の皆さんが主体的に学び続け、さらに学びを深めた新たな学びにつなげたりする循環型学習の構築が重要です。間近に迫った民族共生象徴空間（ウポポイ）の開設は、新たな白老の教育の始まりであるとの強い思いをもって「ふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、次代を主体的に切り拓く人づくり」を目標に掲げ、学びの充実に取り組みます。

■学校教育の充実

社会で生きる力の育成

新たな時代に対応した教育

「白老町スタンダード」の第3期計画の策定、能代市と連携した授業の充実や校内研修の活性化、学習支援員の配置、公費による学力調査、小学校の漢字検定、中学校の英語検定と白老寺子屋などを実施します。また、人型ロボットペッパーを活用しプログラミング教育に取り組み、小学校での外国語活動については、ALTの派遣回数を増やすほか、小規模な小学校においては、集合学習やインターネットを活用した遠隔授業などを実施し、多様な学習の機会を保障します。

特別支援教育の充実

インクルーシブ教育の理念を踏まえ一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を充実させます。また、小中学校での一貫した支援を実施するため、中学校での通級指導教室の開設準備を進めるとともに、引き続き支援員を配置いたします。

郷土への愛着や誇りを育む教育活動

「ふるさと学習」の実践を発展させた「白老未来学」を新設し、今年度は特に小学校社会科副読本の改訂やウポポイの活用を図り、さらに引き続き土曜授業「ふれあいふるさとDay」も年2回実施し、ふるさと白老への愛着を育みます。

豊かな心と健やかな体の育成

道徳教育の充実

道徳の授業の実践や道教委が行う研修会への参加、校内研修による指導力の向上を図り、「考え、議論する道徳」の授業を充実させます。さらに、地域社会との関わりを通して地域を支え互いを認め合う共生の心と自立する力を育みます。

生徒指導の充実

「白老町いじめ防止基本方針」に従い、未然防止と早期発見、早期解消を図るための実態把握や指導を関係機関などと連携し、いじめを生まない教育の土壌づくりに努めます。また不登校の対応では、関係機関と連携した相談体制を充実し、子どもを取り巻く環境の改善と心の成長を支援します。

健やかな体の育成

各学校で体力向上プランを改善し、一校一実践の体力づくりに努め、電子メディアの使用については、実態を把握し、望ましい関わり方について啓発活動を実施します。また、中学校2年生を対象としたピロリ菌検査の実施や、「子どもがつくるお弁当の日」の設定のほか、がん教育、薬物乱用防止教室、性に関する指導を継続し、健やかな体の育成を図ります。

しらかい食育防災センター

安全・安心な給食の提供や栄養バランスのとれた給食により児童生徒の健やかな心身の育成に努め、ウポポイ開設を記